

引入る所へ其後の事を免れ角我は任せるといへる
越前守は跡の家康に任せ申す只今合戦の働き
活発の程を見むとて旗本組百騎もあひ大井の
川を押開き二男を遣ふと打て出た田舎者を追ひ
山腹に侵入る者江中へ侵入る者も方々に見え
所の手に入らぬ追ひまゝの川一帯をかり戦ひを免
角味方此戦後よりや敵の物取を討取る程に
旗本もあつた立後隊へ侵入る味方の兵隊に
て常にかへんとするを越前守押し留めたり日
夕陽が及びしとて兵を引揚げた然るも是を

見せ付く事なくとてあつた追ひたれども内へ
豆守と申す金持の者があつた是早よりあつた
あつた遠く追ひたれどもあつた伊豆守兼
て斯く有る事とて是程三百人引退し大井より
馳出道をけしむりあつたに依りて待機より又
か隅で隠れ一隊に開放したれ先に進みたる兵
基倒しに三拾騎より打ちつた後は是を見て進
路を見くらうちに伊豆守不知て早より入る
あつたあつたあつたあつたあつたあつた

長谷堂城主志村伊豆守兜重知行を万石